



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

25年10月発行
第4号

【発行】公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島 1-38-1
電話：03-5662-7671 FAX：03-3653-0740
E-mail：edo-vc@city.edogawa.tokyo.jp

区民まつりに参加します！

平成25年10月13日（日）

会場 都立篠崎公園

今年もえどがわボランティアセンターと江戸川区福祉ボランティア団体協議会で区民まつりに参加します。
ボランティアさんによる手話や点字の体験コーナー、動物風船の無料配布もあります。
ボランティアコーナーはふれあい広場内にあります。
是非お立ち寄りください。

江戸川区民まつり 会場図



ここです



（写真は昨年の様子です）



風船配布でテントの前は大賑わい



点字の体験 緊張するな～



手話って楽しい！



動物風船、私も作ってみたいくなっちゃったな。

ホームページの検索は 『えどがわボランティアセンター』 または、 edogawa-vc.jp/



今年も166名の方がボランティアの体験をしました。(7月20日(土)～8月31日(土))



「夏のボランティア体験」は、夏休みを利用して小学生から社会人まで幅広い方々を対象に、いろいろなボランティアを体験していただき、どんなボランティア活動があるのか、自分に出来るものは何かを理解していただく機会として毎年実施しています。この夏は猛暑が続きましたが、166名の方が55か所の活動先でボランティア体験をしました。施設や団体の皆様のご協力もあり無事終了することができました。心から感謝申し上げます。

体験者から寄せられた感想文をご紹介します。



図書館での体験

いつも利用している図書館の裏側や、図書館での仕事を知ることができて良かったです。図書館はカウンターでの仕事のイメージが強かったのですが、実際にやってみると、本を運んだり整理することの方が多くて大変なんだなと思いました。

配架をしているうちに本の位置がわかってきて、お客さんに本の場所を聞かれたときに答えることができて良かったです、喜んでいただけたのでとても嬉しかったです。(Tさん)

障がい者施設での体験

障害者施設は初めてなので最初緊張しましたが、職員の方からいろいろ教えていただき利用者さんと一緒に交流することができました。利用者さんと一緒に作業したり、運動したりお話したりする中で名前を覚え、個性を知ることでもできました。たった2日間でしたが、利用者さんの笑顔に元気をもらい、最後帰りのバスに乗り込む利用者さんを送り出す時は寂しい気持ちがこみ上げてきました。職員の方からは、利用者さんを介護するだけでなく、時には社会で生活することを念頭に、支援を考えて接することも大切と学びました。

9月上旬に行われるお祭りに、ボランティアとして参加する予定です。顔を覚えていてくれるといいなあと、少しドキドキしています。

ボランティアは一歩踏み出すところから始まるのだと実感しました。(Mさん)

保育園での体験

保育士が夢だったので参加しようと思いました。保育園では2歳児のお世話をしました。最初は何をすればいいのか分からず止まってしまいましたが、クラスのお友達が「もしもしお姉ちゃん? もしもし」と話しかけてくれたのでうれしかったです。

プールや川に入って遊ぶ時も先生の約束をちゃんと守って楽しんでいました。小さいエビやザリガニ、あめんぼを見つけてうれしそうにしていました。

給食は昔を思い出すようなやさしい味で、とてもおいしかったです。

今回体験してみて夢が深まり、保育士の楽しさや厳しさがよくわかりました。参加して本当によかったです。(Sさん)



担当より一言



「ボランティアをより身近に感じてほしい。」と思いつつ、担当として準備にあたりました。本人や施設の都合で体験が実現しない方もいらっしゃいましたが、活動先でボランティアをする姿を拝見したり、感想文を読ませていただく中で、たくさんの方が貴重な経験を積んでいただけたと確信を深めることができました。



ボランティアセンター情報！

ボランティア募集！！

— 第14回 えがおの家まつり —

日 時 -----
 平成 25 年 11 月 10 日 (日) 午前 9 時～午後 2 時
 会 場 -----
 江戸川区東葛西 5-10-5 江戸川区立えがおの家
 内 容 -----
 ・模擬店の受付、販売 ・交通整理
 ・利用者の付添
 申込・問い合わせ -----
 えがおの家 電 話：03-3680-3116
 担当者 秋葉・鈴木
 締 切 -----
 10 月 11 日 (金)



寄附金等 (7・8 月受付分)
 現金 101,565 円
 (つくしグループ)
 使用済み切手 (7・8 月受付分)
 58 件
 19.84 kg



是非ご覧ください！



■ “えどがわボランティアセンター” のホームページにはこんな情報が！ ■

ホームページアドレス edogawa-vc.jp/ または「えどがわボランティアセンター」で検索

区内の様々な施設等では年間を通じてボランティアさんを募集しています。
 ホームページの「ボランティア活動をしたい」を選んでください。
 活動の内容や地域ごとの募集情報が載っています。



・ **熟年者利用施設 (特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・デイサービス施設など)**
 利用者のお話し相手、レクリエーションの指導・補助、施設の清掃、洗濯物整理
 散歩介助、配膳の手伝いなどのボランティア活動があります。

・ **障がい者利用施設**
 散歩の付添い、お話し相手、作業の手伝いなどのボランティア活動があります。



・ **こどものサポート**
 小さなお子さんとお母さんを支援する活動や障がいを持ったお子さんの運動サポ
 ート、地域の少年野球のコーチなどのボランティア活動があります。



・ **環境・自然・緑などを守り育てる活動**
 公園や区で管理する緑地などで花壇や植え込みの草花の手入れをしたり、ゴミや
 落ち葉の清掃活動を行うボランティア活動があります。

・ **その他**
 お寄せいただいた使用済み切手等の整理を月 2 回行っています。
 (午前 9 時 30 分から 11 時 30 分)
 10 月は 10 日 (木)・26 日 (土)、11 月は 9 日 (土)・28 日 (木) を予定しています。



ボランティア通信「やまびこ」コーナー



☆区民の災害時の準備と心構え

9月8日(日)「江戸川明るい社会づくりの会」50名の方の災害体験がグリーンパレスのホールで行われました。区の危機管理室の方からは、①江戸川区について ②災害時の避難行動 ③避難所 ④救援物資の配給システム ⑤「自助」・「共助」としてやるべきこと、という江戸川区民に知ってもらいたい『5つの知ろう』について聞きました。とてもわかりやすい説明と『**災害を正しく理解し、正しく恐れ行動しましょう**』と結んである解説付きの資料もいただきました。



その後ボランティアによる〇×ゲームを5問しましたが、全員正解できたのは「災害時にエレベーターには乗らない」の1問のみ！以前の常識「地震時すぐ火を止める」は「地震だ！まず身の安全」に変わっているそうです。

災害時支援ボランティアの方には毛布とTシャツでの担架づくりと布担架で運ぶという体験の際に協力していただきました。

一人でも多くの区民の方に知っていただきたい体験でした。

活動部会 山本

☆施設見学会のご報告

9月5日(木)研修部会の施設見学で「水」について学んできました。

午前中は「金町浄水場」でした。オゾンや活性炭等での処理を実験によって見せていただき、屋上から沈殿池等を見学しました。「寅さん」で有名な柴又で各自昼食をとり、午後は江戸川区全域の汚水を処理する「葛西水再生センター」へ。



汚水を約15時間かけて魚が住めるまでにきれいにする主役は、薬品ではなく約50種類の微生物達であることを知り、処理過程の始めと終わりの水の透明度と臭いを体感してきました。

研修部会 松本



やまびこ伝言板

今年も参加！第36回江戸川区民まつり

日時 10月13日(日) 午前9時～午後4時

場所 都立篠崎公園

会場内にある6つの広場のひとつ、ふれあい広場にボランティアセンターがテントを出展し、普及推進部会が協力します。その他にもいくつかの加盟団体が区民まつりに参加します。

秋の一日、篠崎公園にぜひ遊びに来てください！

